日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
教会教育部

教会学校　教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

1．みことば

祈りながら今週のテキスト（聖書箇所）を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、憶えましょう。

2．主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例　○：イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるように
カナで奇跡を行いました。（×：カナの婚礼と奇跡）

3．教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

4．メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。
◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

教会教育部公式サイト　http://ce.ag-j.or.jp/

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。
すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

教　師　ノ　―　ト

日付	２０１７年　４月　２日
単元	イースター
テーマ	私たちの弱さ
タイトル	イエス様を否認するペテロ
テキスト	ルカ２２：３１－３４、５４－６２
参照箇所	マタイ 26:31-35、57-58、69-75、マルコ 14:27-31、53-54、66-72、ヨハネ 13:36-38、18:12-27

暗唱聖句（教会で使用している聖書訳を記入して下さい）
　ルカ２２：３２

AG 日曜学校教案参照箇所

❑導入

　みなさんは、お父さんお母さん、またお友だちと約束をしたことがありますか？では、その約束を自分が守らなかったことはありますか？私たちは約束したときに「絶対に守るよ」と約束したはずなのに、忘れてしまったり、「まあ、いいか」と破ったりしたことはないでしょうか。私たちは、このように約束を守ることが出来ないような弱いところがあります。じつはイエス様の弟子、ペテロさんも同じでした。

❑ポイント１　ペテロの決心はイエス様に命がけで従うことでした（３１－３４節）

　先週のお話しは、イエス様がゲッセマネで逮捕されたお話しでした。じつはその少し前のことでした。
　イエス様は弟子たちと最後の食事をしました。その時、イエス様がペテロさんに、こんなことをおっしゃいました。「ペテロ。あなたはこのあと、こころみにあいます」。イエス様は、ペテロさんが大きな試練を受けるとおっしゃったのでした。
　そして続けてこのようにおっしゃいました。「しかし、私はあなたのために祈っています。あなたの信仰がなくならないように祈っています。そして、立ち直ったら、今度は信仰が弱っている友だちを助けてあげなさい」。でもこの時のペテロさんは、これから自分にどんなことが起こるのかわかっていませんでした。
　ですから、「イエス様、私は信仰がなくなったりしません。イエス様と一緒なら、牢屋に入れられてもいいです。また死ぬことになってもかまいません。私は命をかけて従います」と言いきりました。
　イエス様はそんなペテロさんを見つめ、再びおっしゃいました。「ペテロ。今日鶏が鳴くまでに、あなたは三度、わたしを知らないと言いますよ」。ペテロさんは、イエス様が何をおっしゃっているのかわかりませんでした。自分がイエス様を裏切るなんて絶対ありえないと思ったからでした。

❑ポイント２　ペテロはイエス様が捕らえられた家にもぐりこみました（５４－６２節）

　そんな話しをしてから数時間たち、イエス様はゲツセマネの園で逮捕されました。
　イエス様が捕まった時、弟子たちはみんな逃げてしまいました。イエス様は大祭司の家に連れて行かれることになりました。ペテロさんはイエス様のことがとても気になったので、そのあとを遠く離れてついていきました。
　イエス様が大祭司の家に入れられると、ベテロさんもその家の庭に入り込みました。夜でしたので庭の真ん中にはたき火がありました。みんなそのたき火の周りにいました。ペテロさんも座っている人たちのそばにそっとまぎれて腰を下ろしました。そしてたき火にあたるふりをしながら、イエス様のようすをみていました。

❑ポイント3　ペテロはイエス様のことを「知らない」と言いました（54－62節）

　すると、女の人がたき火の明かりを受けているペテロさんを見つけました。女の人はペテロさんの顔をじっと見つめて言いました。「この人も、あのイエスと一緒にいた人だわ」。ペテロさんはドキッとしました。思わず、「いいえ、私はあの人のことなんか知りません」と言いました。
　しばらくして、今度はほかの男の人が言いました。「おまえもイエスの仲間だろう。」ペテロさんはその言葉を打ち消すようにこう言いました。「いいえ、違いますよ。私はイエスなんて、ほんと、全然知りません。」イエス様の仲間だとわかったら、自分も捕まってしまうと思って怖かったのです。
　それから一時間ほどたちました。たき火の燃える炎がペテロさんの顔を照らしていました。ほかの男の人がそのペテロさんの顔を見て言いました。「確かに、こいつもイエスと一緒にいたぞ。話し方があいつと同じだ」。ペテロさんは首を振り、言いました。「何のことを、あなたが言っているのか、私にはさっぱりわかりません。」ペテロさんが言い終わらないうちに、鶏が『コケコッコー』と鳴きました。
　ちょうどその時です。イエス様が振り向いてペテロさんを見つめられました。ペテロさんも、イエス様が振り向いて、自分のことをじっと見つめておられるのに気がつきました。
　ペテロさんはハッとしました。数時間前のイエス様とのやりとりを思い出したからです。イエス様が、「今日、鶏が鳴くまでに、三度わたしを知らないと言うだろう」とおっしゃった時、自分は、「イエス様、私は信仰がなくなったりしません。イエス様と一緒なら、牢屋に入れられてもいいです。また死ぬことになってもかまいません。私は命をかけて従います」と答えていたからです。イエス様がおっしゃったとおり『ペテロさんはイエス様のことを知らない。と言ったのでした』。ペテロさんはつらくて、もうその場所にいることが出来ませんでした、彼は急いで外に出て激しく泣きました。

❑結論　イエス様はペテロの弱さを知っていました

　イエス様はペテロさんの弱さを知っていました。イエス様がペテロさんを見つめるまなざしは、ペテロさんを責めるものでも、怒ったものでもありませんでした。イエス様のまなざしは「大丈夫です。あなたのために祈っていますよ」。というものでした。

❑適用　（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

　ペテロさんは一生懸命イエス様を信じていました。しかし失敗もしました。私たちも失敗することがあります。しかしイエス様は、そんな私たちの弱さをよくご存じです。ペテロさんのために祈っていたイエス様は、私たちが、立ち直れるように祈ってくださっています。私たちのために祈って下さるイエス様に感謝をしましょう。そしてイエス様に従っていきましょう。

教　師　ノ　―　ト

日付	2017年　4月　9日
単元	イースター
テーマ	十字架
タイトル	十字架につけられたイエス様
テキスト	ルカ23：26－49
参照箇所	マタイ27：32－56、マルコ15：21－41、ヨハネ19：17－30

暗唱聖句（教会で使用している聖書訳を記入して下さい）
　ルカ23：34

AG 日曜学校教案参照箇所

❑導入

　この前のお話しは、オリーブ山でイエス様が逮捕されたということを学びました。今日は、イエス様が裁判にかけられて、罪がないのに十字架につけられたお話しです。

❑ポイント1　イエス様は十字架につけられました（39－41）

　イエス様は、エルサレムの町から少し離れた「ゴルゴタ」と呼ばれる丘に向かって歩いていました。ゴルゴダの丘は、イエス様が十字架につけられる場所です。ローマの兵隊たちに囲まれながらイエス様は歩いていました。

　イエス様が十字架を背負って歩くのです。その姿を見ようと、たくさんの人たちがついて行きました。ある人は笑っています。またある人は怒っています。またある人は、とても悲しんでいました。ローマの兵隊たちは、イエス様を十字架に釘づけするために歩いています。二人の強盗も一緒に十字架につけられようとしています。それから、イエス様のうしろに、悲しみながら歩く小さなグループがありました。それはイエス様の友だちで、ついて来たのはほとんどが女の人でした。この人たちは泣いていましたが、イエス様は泣いてはいけないと言われました。

　ローマの兵隊たちは重い十字架をイエス様にかつがせましたが、イエス様は少し歩くと、この重い十字架の下敷きになって倒れてしまいました。イエス様の背中には、むちで打たれた深い傷がありました。十字架を背負うと、その傷に十字架がくい込みました。イエス様は、その痛みに我慢出来なかったのです。それにとても疲れ弱っておられたので十字架の重みに耐えられなかったのでした。

　一人の兵隊がイエス様の倒れるところを見て、この十字架を他の人に背負わせました。十字架を背負わされたのは、丁度そこを通りかかったクレネ人のシモンという人です。シモンさんは、兵隊に「おい、ここに来て、このユダヤ人の王を助けてやれ。」と言われました。シモンさんは、黙って兵隊に従い、身をかがめて、重い十字架をイエス様の背中から移し、自分が背負ったのでした。それはシモンさんにも苦しいものでしたが、シモンさんは何も言いませんでした。

　ゴルゴダの丘に着いた時、ローマの兵隊はイエス様を十字架につけました。イエス様は重い木の十字架に釘づけにされました。十字架は地面に掘った穴に立てられました。兵隊たちは十字架の苦しみを取るために、イエス様に酢いぶどう酒を飲ませようとしました。けれどもイエス様は飲もうとなさいませんでした。

　イエス様を十字架につけたあと、二人の強盗も一人ずつイエス様の両側の十字架につけられました。イエス様の頭の上に「これはユダヤ人の王」と書いた札がかけられました。

❑ポイント2　イエス様は十字架の上で祈られました（40－46）

　イエス様を憎む人たちは、十字架につけられているイエス様を眺め、からかったり、いろんな悪口を言ったりしました。そして「おい、他の人を救うことができても、自分自身を救うことが出来ないのか。」「あれがイ

スラエルの王だって。王様ならいま十字架からおりてみろよ。そうしたら信じよう。」と言いました。
人々は大事なことを知りませんでした。それは、イエス様はご自分を救うことが出来るけれど、みんなの罪が赦されるために身代わりで死なれる。ということです。また、イエス様をバカにして、ののしることがどんなに恐ろしいことかもわかりませんでした。
　イエス様は十字架にかかっている間どんなに苦しまれたことでしょう。釘が手に打ち付けられ、血は地面に流れ落ちました。でもイエス様はこの人たちのことを思って、「父よ、彼らをおゆるしください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。」と言われました。
　また、イエス様と一緒に十字架につけられた犯罪人が、イエス様のことをバカにしました。
しかし、もう一人の犯罪人は、「お前は何を言ってるんだ。おれたちは自分がした悪いことのために十字架につけられたんだ。でも、この方は悪いことを何もしていない」と言いました。それからその人は、イエス様に向かってお願いをしました。「イエス様。天国にいらっしゃったら、私のことを思い出してください。」この人は、自分がした悪いことを認めて、イエス様を救い主だと信じたのです。イエス様はその人に、「あなたは今日わたしと一緒にパラダイスにいます」と約束なさいました。イエス様を救い主と信じるならば、どんなに悪いことをした人でも、心からおわびをすれば無条件で赦され、主と共にいることができるのです。

❑ポイント3　イエス様は十字架の上で息を引き取られました（47－53）

　十字架につけられてから死ぬまでは、何時間もかかりました。真昼だと言うのに夜のように真っ暗になりました。イエス様は最後に大声で「父よ、わたしの霊をあなたにおまかせします」と叫んで、息を引き取られたのです。
　一人の兵隊が、イエス様のわき腹に槍を刺して、確かに亡くなっていることを確かめました。
イエス様が死んだ時、不思議なことがおこったのです。エルサレムの神殿の幕が上から下まで裂けたのです。これはイエス様が救い主だということを神様が人々に示したしるしです。人々が罪を許される方法は、この救い主であるイエス様を信じることだけです。
　十字架の出来事を最初から最後まで見続けていた白人隊長は、イエス様が本当に正しいお方であったことを認め、神様をほめたたえました。

❑結論

　罪のない正しい方であったイエス様は、罪人の身代わりとなって罰を受けるという使命を、十字架につけられることによって果たされました。

❑適用　（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

　イエス様が十字架にかかって下さったのは、私たちを罪から救うためでした。ですから、イエス様のことを「救い主」と言うのです。教会に十字架があるのも、それを見て私たちが神様に感謝するためです。みなさんは、イエス様を自分の救い主として信じますか。神様に赦していただきたいことがあったら、いまお祈りしましょう。神様は、どんな人の罪も赦して、天国に行く約束を与えてくださいます。

教　師　ノ　―　ト

日付	2017年　4月16日
単元	イースター
テーマ	復活
タイトル	復活の朝におこったこと
テキスト	ルカ24：1－12
参照箇所	マタイ：28：1－10、マルコ16：1－8、ヨハネ20：1－10

暗唱聖句（教会で使用している聖書訳を記入して下さい）
　ルカ24：6

AG 日曜学校教案参照箇所

❑導入

　今日はイースターです。イースターおめでとうございます。ところでイースターというのは何の日か知っていますか？それは、イエス様が死から復活したことをお祝いする日です。今日はこの復活の出来事についてお話しします。

❑ポイント1　女の人たちはイエス様のお墓に行きました（1－2節）

　先週お話ししたように、イエス様は十字架につけられ殺されてしまいました。イエス様はそのあとどうなったのでしょうか？実は亡くなったイエス様のお体は、議員の一人でヨセフという人が引き取りました。そしてその体は、岩を切り抜いたお墓の中に置かれました。体は白い布でぐるぐるに巻かれたのでした。本当ならば、身近にいた弟子たちがしなければならないことなのに、彼らは怖くなって逃げてしまったのです。
　イエス様のお墓の入り口には大きな石が置かれていました。イエス様がお墓に納められた金曜日の夕方から安息日が始まりました。安息日は、すべての仕事を休んで静まって神様のことを思うようにと定められた日です。遠くまで出歩くことも許されていませんでした。イエス様に従っていた女の人たちは、安息日が終わったらイエス様のお墓に行こうと準備をしていました。この女の人たちは、大好きなイエス様が十字架にかけられた時、泣きながら遠くで見守っていた人たちです。そして、イエス様が葬られる時、お墓までついていって場所を覚えておきました。大好きなイエス様のために出来る限りのことをしてあげたいと思ったからです。彼女たちは、イエス様のお体に香りのよい油を塗りに行くことにしました。日曜日の朝、まだ暗いうちにお墓に向かいました。
　でも、ちょっと心配なことがありました。イエス様のお墓の入り口には、大きな石がありふさがっていたのです。女の人の力では、とても動かすことができないほど大きくて重い石です。「だれか石をどかしてくれるといいんだけど。」そんなことを話していました。お墓に着いたところで、自分たちには何もできないことを知っていたと思います。しかし女の人たちは、イエス様が大好きでしたから、お墓へと足を運ばずにはいられなかったのでした。丁度、太陽がのぼる頃、女の人たちはイエス様のお墓に到着しました。

❑ポイント2　イエス様のお体はお墓にはありませんでした（2－8節）

　お墓に着いた女の人たちは驚きしました。なんと入り口の大きな石がわきに転がっていたのです。「いったいだれが転がしたのでしょう。」彼女たちは不思議に思いました。そして恐る恐る墓の中をのぞき、中に入りました。なんとびっくりです。イエス様のお体がありませんでした。そこにはお体に巻いてあった布が置いてあるだけでした。いったいどういうことでしょう。女の人たちは、お墓の中が空っぽなので、どうすればいいのかわからないでいました。
　その時、光り輝く衣を着た二人の人が近づいてきました。女の人たちは怖くなって、地面に顔を伏せました。その人たちは天使でした。天使はすばらしい知らせを告げたのです。『イエス様は生きていらっしゃるの

に、どうしてお墓の中を探すのですか。無駄なことですよ。ここにはいらっしゃいません。イエス様はよみがえったのです。ガリラヤにいる頃、イエス様がお話しされたことを思い出しなさい」
さらに、「イエス様ご自身が、『わたしは十字架につけられ、三日目によみがえる』とおっしゃっていたでしょう」と言いました。婦人たちはイエス様のおことばを思い出しました。確かにイエス様は、ご自分の十字架と復活のことをおっしゃっていました。でもそのことを聞いた時には、イエス様のおことばの意味がわかりませんでした。しかしイエス様がおっしゃったとおりになったのです。

❑ポイント3　女の人たちは急いで弟子たちに伝えました（９－１２節）

女の人たちは急いで弟子たちのもとに向かいました。そしてこのすばらしいニュースを知らせました。
「みなさん、イエス様はよみがえりました。今、お墓に行ったら、天使があらわれ、そう言っていました。」
それを聞いて、弟子たちはどうしたと思いますか。この素晴らしいニュースを弟子たちはすぐに信じなかったのです。
「そんなことがあるわけない。何をくだらないことを言ってるんだ」と、いくら本当だと言っても、「そんなバカな。生き返るなんて信じられないよ」
と、誰も信じませんでした。しかし、ペテロとヨハネだけは、「もしかすると」と思って、お墓に向かって走りだしました。
二人は走りながら、「彼女たちは勘違いしたんじゃないか?」「イエス様は死んだんだよ。僕は三日前に死ぬのをこの目でちゃんと見たんだから。」と言っていました。
二人はお墓に到着しました。お墓はマリヤの言うようにあいていて、大きな重い石はころがされていました。二人はびっくりしながらお墓にはいりました。はいると、イエス様のお体を巻いた布が、きちんとたたまれて置いてあるのを見ました。
本当にイエス様のお体はありません。二人は「わからない。とにかく帰ろう。イエス様のお体がなくなっていることは確かだ。」と言い町へ帰って行きました。

❑結論　イエス様はよみがえられました

イエス様の復活は、本当にあったのです。そしてこの復活の事実があったからこそ、神様の救いが完成し、私たちは確かに罪赦され、主と共に生きる道が開かれたのです。

❑適用　（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. イエス様は今も生きておられます。そして天国から私たちをいつも見ておられます。それだけではありません。イエス様にお願いをすれば、私たちの心の中に住んで下さいます。そして目には見えなくても、私たちと一緒にいて下さるのです。私たちが信じている神様は、本当にすばらしいお方です。今日あなたもこのイエス様を信じませんか？

2. イエス様は十字架にかかり確かに死んだのです。死んだ人が生き返ることはありません。では、イエス様はなぜよみがえることが出来たと思いますか。それは、イエス様が神の子だからです。イエス様は、よみがえることによって死の力と罪の力に勝利をされたことを示されたのです。私たちは弱く罪に負けてしまいます。しかし罪の力に勝利をされたイエス様を信じるならば、私たちも罪に勝利することができます。今日あなたもこのイエス様を信じてお祈りをしましょう。

教　師　ノ　―　ト

日付	2017年　4月23日
単元	イースター
テーマ	愛の回復をして下さる主
タイトル	あなたは、わたしを愛しますか
テキスト	ヨハネ21：15－22
参照箇所	ヨハネ18：15－18、25－27、マタイ26：31－35、マルコ14：66－72、ルカ22：31－34

暗唱聖句（教会で使用している聖書訳を記入して下さい）
Ⅰヨハネ4：19

AG 日曜学校教案参照箇所

❑導入

イエスさまが十字架にかかられる時、ニワトリが鳴く前にペテロはイエスさまのことを3度知らないと言いました。ペテロにとっては、触れて欲しくない少し前の失敗の出来事でしょう。イエスさまを裏切り、失敗したペテロに、よみがえりのイエスさまは、どのように声をかけられたのでしょうか？

❑ポイント1　イエスさまは、ペテロに質問しました（15-17）

イエスさまは、ペテロに「あなたはわたしを愛しますか」と質問しました。ペテロは、「はい。私があなたを愛することはなたがご存知です」と言いました。イエスさまはペテロに同じ質問を3度しました。

仲良くしている友だちが、別の人に私のことを「あの人のこと知らないよ。友だちじゃないよ」って言っているのを聞いたら、みんなだったらどう思いますか？ペテロがイエスさまのことを 3 度も知らないと言った時、イエスさまはどう思ったでしょうか？またペテロはその時のことをどう思っているでしょうか？

普通の人だったら、「どうしてあの時、僕のことを知らないっていたんだい？」と言うかもしれません。でもイエスさまは 3 度も知らないと言ったペテロに対して、「あなたはわたしを愛しますか」と 3 度も言われました。イエスさまは、裏切られても赦し、愛し合う関係を大切にしているのですね。

❑ポイント2　イエスさまは、「わたしの羊を飼いなさい」と言われました（15－19）

イエスさまは3度、ペテロに「わたしの羊を飼いなさい」と言われました。そして「他の人があなたの行きたくない所に連れて行きます」とも言われました。

イエスさまのことを知らないと言ったペテロですが、イエスさまはペテロを信頼してイエスさまの働きを任せているのです。それはペテロが自分のやりたいことをするのではなく、ペテロの行きたくない所に連れていかれるようなことになるとイエスさまは言われました。しかしそのことを通して、神さまの栄光が現れ、神さまって素晴らしいと多くの人々が神さまを賛美するようになるのです。

実際、イエスさまの十字架の時には人々の目を恐れてイエスさまのことを知らないと言ったペテロですが、よみがえりのイエスさまの言葉に励まされ、また聖霊の力をいただいて、イエスさまと同じように迫害されても、捕まえられても、それでも人々にイエスさまのことを伝える働きをしました。

❑ポイント3　イエスさまは、「わたしに従いなさい」と言われました

　イエスさまは、ペテロに「わたしに従いなさい」と言われました。ペテロは近くにいる弟子を見て「この人は、どうですか」とイエスさまにたずねました。イエスさまはペテロに「あなたはわたしに従いなさい」と再び言われました。

　「この人はどうですか？あの人はどうですか？」と私たちは周りの人たちを気にしてしまうことがあります。でもイエスさまは「他の人ではなく、あなたはわたしに従いなさい」と言われました。

☞伝承ですが、ペテロの最後は逆さ磔(はりつけ)にされて殉教したと言われています。映画「クオ・ヴァディス」なども迫害時代を生きたペテロたちの歴史背景を知るのに参考になります。

結論　イエスさまは、失敗した人も受け入れ、用いて下さいます

暗唱聖句を読み上げます

❑適用　（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1.「イエスさまを愛します」と告白しましょう

　「イエスさまは、僕のことを愛してくれているだろうか？」と不安になる必要は全くありません。イエスさまの愛は永遠の愛なので、増えたり減ったりしません。大切なことは「あなたはイエスさまを愛していますか？」というイエスさまの質問に心から「主よ、愛します」と答えていくことです。私たちが心から「イエスさま、今日もあなたを愛します」と告白していくなら、私たちの毎日は変わってきます！

2. イエスさまのために何ができるでしょうか？

　イエスさまを愛する人は、イエスさまに従い、イエスさまのために何かをすることができます。それは他の誰かと同じでなくても良いのです。愛するイエスさまのために今の私に何が出来るか、この1週間、イエスさまに聞きながら祈りましょう。そして来週、みんながどんなことを決心したか、聞き合いましょう。（先生は、小学生の時に、教会の犬を散歩に連れて行ったり、分級の準備や片付けを手伝ったよ！）

3. ペテロのように失敗して、心を暗くしている友だちはいませんか？

　自信を失っている友だちはいませんか？そういう友だちがいたら、「イエスさまがいるよ。裏切り失敗したペテロを励ましたイエスさまがいるよ。イエスさまは、立ちあがる力を与えてくれるよ」と励まし、祈り、教会に誘いましょう。

4. 仲が悪くなっている友だちはいませんか？

　以前は仲良しだったけれど、誤解や意地悪や失敗、裏切り、悪口、ケンカ・・・、そういうことで仲が悪くなっている友だちはいませんか？本当は仲良くしたいんだけど、そう出来なくなっている友だちはいませんか？私たちをあきらめないで愛してくれるイエスさまから、私たちも本当の愛をもらって、仲直りをする力をもらいませんか？